

北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

1. 今後の見通し

予測期間: 2003年11月上旬から12月中旬までの旬別

対象海域: 道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業: さんま棒受網漁業

対象魚群: 南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量: 11月上旬～中旬にかけて中位水準から低位水準へと減少し、11月下旬には魚群が逸散して断続的となる。

(2) 漁場: 11月上旬以降は襟裳岬南沖が主たる漁場となる。11月下旬以降は散発的となり、12月上旬には消滅する。

2) 三陸海域

(1) 来遊量: 11月上旬には一時低下するが、11月中旬には再び増加する。11月下旬には低位にまで減少し、12月上旬に断続的となる。

(2) 漁場: 11月上旬以降は南偏傾向となり、11月下旬以降は南部主体となる。12月上旬以降散発的となり、12月中旬には消滅する。

3) 常磐海域

(1) 来遊量: 11月上旬には中位水準を維持するが、11月中旬には低下傾向となり、11月下旬以降平年並みの水準で推移し、12月中旬には断続的となる。

(2) 漁場: 11月上旬～12月中旬は鹿島灘・犬吠周辺が主漁場となる。

2. 予測の概要

海 域		11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬
道東海域	来遊量					
	動向	中位低下	中位低下	断続的		
	漁 場	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖	襟裳岬南沖		
三陸海域	来遊量					
	動向	中位減少	中位増加	中位減少	断続的	
	漁 場	南偏傾向	南部	南部	南部	
常磐海域	来遊量					
	動向	中位横這	中位減少	低位水準	低位水準	断続的
	漁 場	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺	鹿島灘・犬吠周辺

3. 漁況の経過概要

(10月中旬)

漁場の南端位置が大きく変化し、14日夜には女川沖、16日夜には金華山南沖、17日夜には塩屋崎沖、19日夜には那珂湊沖に達した。

1) 道東海域

(1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期に比して大幅に低下し、前年の水準よりも下回った。また日別CPUEの推移から判断すると、期前半は来遊量が少なかったが、後半多くなった模様。

(2) 漁場: 漁場は、落石南東沖及び落石～釧路南南東はるか沖に形成された。落石南東20海里付近では、期前半に一晩漁場水温10台で小型船の漁場が形成されて以降消滅した。落石南南東～東60～90海里、漁場水温10～13台で小型船の漁場が期前半に形成され、好漁がみられた。群れは、濃い～薄い・大～中群。灯付きは良好～並。

落石～釧路南南東90～120海里、漁場水温12～13でも期後半に小型船好漁の漁場形成があった。群れは濃い・中群。

(3) 魚体: 魚体は大3 - 中4 - 小3～大2 - 中5 - 小3が主体。

2) 三陸海域

(1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、前期を若干上回ったのみであった。しかし、前年の0に近い水準に比較するとかなり高く、過去14年間と比較して上から9番目に位置した。また日別CPUEの推移から判断すると、期前半には高水準の来遊であったが、期後半には低水準となった。

(2) 漁場: 道東海域との境界域である黒崎東及び宮古・釜石はるか沖合と三陸沿岸域に形成された。黒崎東60～90海里及び宮古・釜石東100～135海里、漁場水温14～18台で大型船が好漁を持続した。宮古の極く沿岸から金華山の南30海里で期の後半に漁場の形成が見られた。漁場水温は16～18。大型船の操業だが、漁模様は低調。

(3) 魚体: 大3 - 中5 - 小2～大2 - 中5 - 小3主体。

3) 常磐海域

(1) 来遊量: 資源量指数から判断した来遊量の水準は、多いとは言い難いが、前期の0から上昇を示し、過去14年間と比較しても上位6番目に位置した(8番目以降はほぼ0に近い水準)。また、日別CPUEの推移から判断すると、期後半3日間のみ来遊があった模様。

(2) 漁場: 期の後半には分布が本海域まで南下し、先端は鹿島灘にまで達した。漁場は、期後半に金華山南及び塩屋崎沖～鹿島灘沿岸に形成された。金華山南40海里、漁場水温は18～19。塩屋崎～鹿島灘沿岸一帯、漁場水温17～18。漁模様は徐々に上向く傾向が見られる。

(3) 魚体: 魚体は大3 - 中4 - 小3も見られたが、大2 - 中5 - 小3が主体である。